

<家庭数>

P T A 会員の皆様

平成29年3月7日

世田谷区立千歳小学校  
校長 渡邊 克元  
P T A 会長 藤田 博子  
家庭教育学級委員長 大木和佳子

## 平成28年度 第3回家庭教育学級 開催報告書

向春の候、P T A 会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度「第3回家庭教育学級」を、2月23日に開催いたしました。

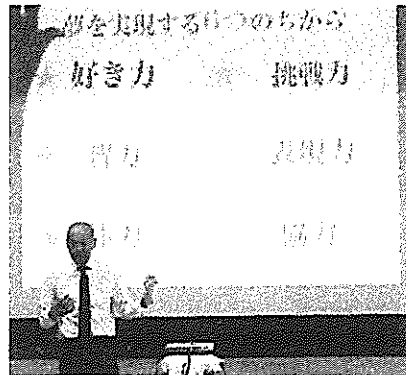
元平泳ぎ100メートル日本記録保持者である、オフィストゥリトネス代表取締役 不破 央氏を講師にお招きし、「夢を実現するちから」というテーマのもと、講演をしていただきました。

今回は6年生児童も一緒にお話を伺う講演会となりました。第一部は6年生児童向け「夢を実現するために必要な6つのちから」について、ご自分の経験をもとに、クイズ・パントマイムを交えた、大変楽しいお話をしてくださいました。第二部はP T A 会員向けに補足のお話と質疑応答の時間をいただきました。これから夢に向かって進んでいく児童にも、その児童を見守る保護者にも沢山の気づきをいただける、大変充実した講演会となりました。

以下に内容の一部をご報告いたします。

### 「夢を実現するちから」

■講師 不破 央氏 ご紹介



元100m平泳ぎ日本記録保持者であり、サラリーマンを経て青年海外協力隊から帰国後、水泳とクラウンを融合させたパフォーマンス活動を開始。

映画・ドラマ「ウォーターボーイズ」のシンクロシーンの振り付けや指導をはじめ、多くのメディアでの水泳企画に携わる。

「ウォーターボーイズ」をきっかけにブームとなったシンクロパフォーマンスの普及、安全対策啓蒙のため、日本ダンススイミング協会を設立し、会長を務める。

シンクロ日本代表選手の表現指導コーチに就任し、手がけた演出は海外から高い評価を得た。

平日の水泳教室では1週間に約90名を直接指導している。

■第1部 : 6年生向け講演

- ・ 「夢を持っている人は居ますか？」と問われて、すぐに手をあげることが出来た人は、夢

を実現することが出来る。なぜなら、いつもその夢について考えているから。

- ・ 夢を実現するために必要な6つのちからは、

- ①好き力～こうなりたいと思うこと、夢に向かいドキドキワクワクすること
- ②知力～どうしたら夢を実現できるか情報を収集し、自己分析すること
- ③体力～夢に向かい鍛錬するための体力
- ④挑戦力～失敗を恐れず挑戦すること
- ⑤表現力～夢を実現したいという想いを伝えること
- ⑥協力～周りの人の協力

この6つが合わさることで夢が実現できる。

- ・ 小学校1年生から始めた水泳でオリンピックを目指すために中学1年生で上京した。その時のコーチは「世界を目指すのであれば、当たり前のことをするな、非常識なことをしなさい。」といつも言っていた。当時、日本の水泳界で非常識とされていたウエイトトレーニングを徹底的にやったことは、心身ともに成長させてくれ、中学3年生での全米選手権優勝という夢の実現につながったと思う。ただし、「非常識なこと」「スゴ技」といったことをするには、その対極にあるように見える「常識」「基礎」が出来なくてはいけない。
- ・ 自分の周りにいる大切な人に伝えたい感謝などの気持ちは、今、伝えよう。

■第2部 : P T A 会員向け講演会・質疑応答

- ・ 壁にぶつかったり、辞めたいと思うときの乗り越え方は、地味なことをひたすら努力すること、人に話をする。親は子どもが壁にぶつかっている時に「自分の話を聞いて欲しい」と思わせるようになると良いと思う。
- ・ 両親は水泳について何も言わなかったが、辛いことがあるとそれを察して美味しいご飯を食べさせてくれた。試合の応援も声を出さずに、かすかな合図を送ってくれるのみだったが、それで見守ってくれていることが分かり、気分が入った。常に見守ってくれている味方がいることは、人を前に進ませてくれる。
- ・ 青年海外協力隊でグアテマラに派遣され、水泳指導を行った際、「相手の価値観を受け入れ、楽しさを感じてもらいながら指導する」ことの大切さに気が付いた。映画「ウォーターボーイズ」で水泳指導した際も、水の中で動くことで泳げるようになっていく俳優陣の成長を見ることが出来た。将来、「小学校の授業において、子どもたちが水の中で楽しみながら泳げるようになる」指導プログラムを開発・普及したいと考えている。
- ・ スポーツなど、一つのことに打ち込んでいたがその道に進めなくなった時、「自分には何も無くなってしまった」と思う必要はない。次の道に出会うものであるし、新しい道へ進んでも、その時努力したことは生きてくる。大人は、子どもが頑張ったことを思い出させる手伝いをしてあげると良い。
- ・ 我が家の子育てポリシーは「一日一笑」。

■P T A 会員アンケート結果 (一部抜粋)

- ・ 6年生だけではなく、全学年向けに聞かせたい内容だった。
- ・ 子どもを見守っているというオーラを出せる親になろうと思った。
- ・ 何をするにしても基本・基礎が大事であると再認識した。日々の生活で心掛けていきたい。